

# 哲学者 内山節の哲学講座

## 転換期の世界と農業・農村の役割

- 開催日 2018年7月28日(土)～29日(日) 1泊2日
- 講師 内山節さん(群馬県・哲学者)
- 会場 上野村役場(群馬県) ※JR高崎駅よりバス送迎あり
- 宿泊 今井家旅館(会場から徒歩5分)
- 参加費 税込30,240円(28,000円+税)  
※受講料、資料代、宿泊・食事代等込

今年も、内山哲学を育んだ群馬県上野村で哲学講座を開催します。  
国民国家、市民社会、資本主義——近代の世界秩序は限界に達し、音を立てて崩れ始めています。  
その一方、伝統に学びながら新たな共同体を創造していく人びとの動きも大きな広がりを見せています。  
その先にあるのは、関係的世界を回復し、風土と和解する時代かもしれません。  
近代的世界の限界から、私たちは何を導き出したらよいのでしょうか？  
伝統的な農業や農山村のありようから何を学べるのでしょうか？  
内山哲学を学びながら考え、語り合う時間を共にしたいと思います。ご参加をお待ちしております。

■おおよそのスケジュール 変更になる場合もあります

1日目

12:30	集合・受付
13:00	講座説明など 第1講「壊れていく近代の世界秩序」
15:20	第2講「個人と関係性」
17:20	上野村学習
18:20	宿に移動、チェックイン、自由時間（入浴など）
19:00	夕食
	懇親会（自由参加）

2日目

7:30	朝食
8:30	チェックアウト、上野村役場に移動
9:00	第3講「システムの変更か、共同体の創造か」
11:00	第4講「風土と和解する時代へ」
12:30	昼食
13:30	質疑応答、全体討論とまとめ
15:00	終了・解散（高崎駅まで送迎バスあり）

■定員：30名（お部屋は男女別相部屋となります）

■持ち物：ノート、筆記用具など（タオル、歯ブラシ、浴衣はあり）



農文協の雑誌  
季刊 うかたま  
定価 743円+税  
年4回発行  
定期購読 2,970円+税（1年分）

上野村の山ぐらし  
内山さんのエッセイ連載中

農文協ブックレット『種子法廃止でどうなる？』 定価 900円+税  
内山さん巻頭エッセイ「種子は半商品である」収録

集合



- \*電車の方 10:30 高崎駅東口からバスで送迎
- \*自家用車の方 12:30 上野村役場に直接集合

今年の上野村学習は

報告：武部裕子さん（上野村図書館司書）

1ターン者の暮らしを支え、村民が集まれる場をつくろうと、図書館で子育て支援や編み物・パン教室などを開催。図書館から見える上野村の人と暮らし、仕事とは——？



講義内容（予定）から抜粋

- システムによる支配とポジション取りを目指す人々
- 充実感のない労働、役割を見いだせない労働
- なぜ日本は仏教(大乘仏教)社会になったのか
- ヨーロッパにおける地域独立の動きをどうみるか
- 江戸時代の都市共同体について
- 上野村の結婚式とは、結婚とここで暮らす許しを風土にお願いすること



↑ 昨年の講座の風景

農文協「読者のつどい」事務局宛

2018 哲学講座 お申し込み

FAX 03-3589-1387

E-mail tudoi@mail.ruralnet.or.jp

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒
TEL	
携帯電話	
FAX	
E-mail	
現地までの交通手段（予定）	<input type="checkbox"/> 電車（送迎付） <input type="checkbox"/> 自家用車

ご職業
何でこの講座を知りましたか
メッセージなど